

評価委員会議事録

第59回東京矯正管区教誨師研修埼玉大会

- 1 日時 平成27年7月16日(木) 午前10時から同11時30分まで
- 2 場所 川越少年刑務所教育部事務室
- 3 出席者

(1) 大会関係教誨師

埼玉県教誨師会会長(大会委員長)	岩田光哲
埼玉県教誨師会副会長	成田了恵
埼玉県教誨師会常任理事	梅沢一雄

(2) 関係施設職員

川越少年刑務所首席矯正処遇官	矢田豊氏
川越少年刑務所上席統括処遇官	會田幸男氏
川越少年刑務所主任矯正処遇官	大野功路氏
川越少年刑務所教育専門官	木崎道啓氏

4 議事内容

(1) 研修内容について

おおむね適切であったと考える。被収容者の目線を意識し、教誨師の自覚に訴えるなど、今までになかった副題であった。

(2) 研修テーマについて

研修の参加した教誨師が、他の分科会の意見も聞くことができるようにすればよかった。

事前に分科会の目的を全員に周知させるように準備を行うようにしておけば、時間を有効に活用できたのではないか。

内容について、各施設における現状の問題点を提言できる場を設けることを行ってもよかったのではないか。

(3) 研修の成果について

総じて良好であった。

(4) 実施体制について

管区教誨師会主催の研修でもあり、東京矯正管内の各都県の教誨師のみならず、もう少し管区教誨師連盟及び全国教誨師連盟が開催準備において関わることがあっても良いのではないかとの意見があった。

(5) 研修会の課題、改善すべき事項

2日間に渡る研修日程を1日に集約することはできないかとの意見もあった。1日の研修日程では、時間に余裕がなく、充実した研修を行うことができなかったことから2日間の日程で研修を行うようになった。研修会をコンパクトにしたり、分科会の時間を増やすなど二律背反的な課題も見受けられるが、研修会としての趣旨をより明確にしながらか時間配分を検討することが課題である。